

# 変化に対応 柔軟な姿勢で

11/26

延岡商工会議所は10月30日に臨時議員総会を開き、8期25年にわたって会頭を務めてきた清本英男氏(80)―清本鉄工会長―の勇退を受けて、新会頭に吉玉典生氏(68)―吉玉精鏡社長―を選任した。第13代会頭としての抱負、地元経済界の課題や展望を聞いた。

―会頭に就任されました。抱負を。

まずは細かい現状確認を進める必要があると思っています。人口減少が続いており、市内にはシャッターが閉まっている店も少なくありません。インターネット利用が進む中で、買い物の方が変わってきています。私自身も活用しています



が、確かに早くも安いです。今後この傾向は進んでいくでしょう。2年前に来延したす

きやばし次郎の小野二郎さんが「延岡は食材も料理もすばらしい。なせもつとアピー

ルしないのか」とお話しされました。旬やタイミングで価値が変わる「食」は

## 延岡商工会議所 吉玉典生会頭に聞く

「延岡って面白い」と言ってもらえる――

# 大切なのは魅力的な環境

います。積極的な動きを見せる商店街の若い人も多く、そういった人たちがサポートはとも重要ではないでしょうか。

創業者増加へのさまざまな支援が必要で

二ズやタイミングをいかにマッチさせ、効果的なアピールができるかで受け止められ方は変わってきます。商工会議所としても、人の考え方や環境の変化に対応できる柔軟な姿勢を持った団体にしていければいいですね。

つの突破口だと考えています。東九州バス

化構想などすでに始まっている動きの推進を行うっていければと思います。

創業支援、若者のサポートの施策について。

人口は減っていますが大規模なイベントの際の人は多いと思

す。スタートアップ支援などすでに実施している事業も多々あります。駅まちエリア(幸町、栄町および山下町と萩町の一部を含む延岡駅周辺地域)の空き店舗活用については、3年前に官民が一体となつて設立した株式会社まちづくり延岡のチャレンジショップ事

す。大切なのは「延岡って面白いよね」と言ってもらえる、多くの人

のモチベーションを高めるもの。先ほどの「食」をはじめ魅力的な環境などですね。延岡は、Uターン者やIターン者も含めそういった人たちの受け皿に十分なる場所だと考えています。

前回の清本さんは四半世紀の間、会頭として陣頭指揮を執られてきた方。重庄は大変大きいですが、少しでも地元経済の発展に寄与できればと思っています。

▲プロフィール 千代田化工建設(東京)を経て1991年に吉玉精鏡に入社。代表取締役専務、93年に社長就任。延岡鉄工団地組合理事長や全国工場団地協同組合連合会副会長などを歴任。延岡市出身。